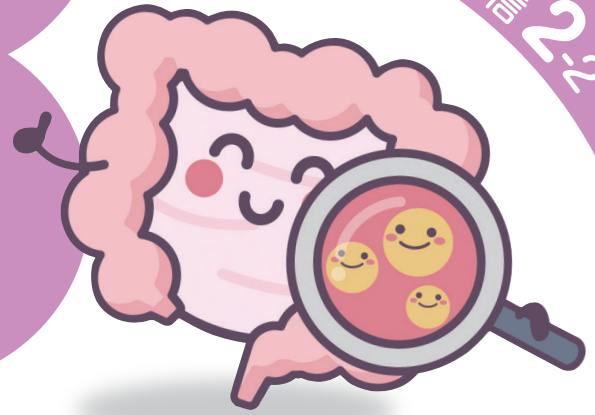


受けましょう！ 大腸がん検診！



大腸がんは日本人のがんによる死亡者数の第2位です。
中でも女性の死亡者数は第1位です。

2014年の死亡者数が多いがんの部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女 性	大腸	肺	胃	膵臓	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」 最新がん統計



大腸がんの
死亡者数が多いですね
どんなことに気をつけたら
いいですか？



大腸がんの予防には
「生活習慣の改善」と
「毎年がん検診を受ける」
ことが大切です

大腸がんの予防法とは

- ①野菜や果物を毎日400グラム以上食べる
- ②赤肉(牛・豚・羊など)や加工肉を食べ過ぎない
- ③アルコールを摂り過ぎない
- ④禁 煙
- ⑤ほどよい運動
- ⑥適正な体重の維持



- ⑦毎年がん検診を受ける

早期発見には、大腸がん検診を
毎年受診することが重要です。

便潜血検査で陽性に出れば、
かならず精密検査を受けましょう！



正しく大腸がん検診を受けていただくために

大腸がん検診は 『便潜血検査』（2日法）が行われます

便潜血検査が **陽性** → 精密検査を受けましょう

陰性 → 翌年再びがん検診を受けましょう

便潜血検査とは？

便の中に血液が混じっているかどうかを調べる検査です。

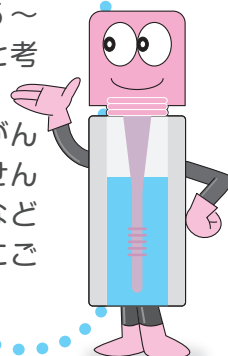
この検査のために食事や内服薬の制限はありません。家庭で専用の採便容器に便を採るだけです。



大腸がん検診は毎年受けましょう。大腸がんは比較的ゆっくり成長するので、ある年の検診で発見できなくても翌年に発見できることがあります。

検診を毎年受けることで 85～90%の大腸がんを発見できると考えられています。

しかし、検診ですべての大腸がんが発見できるわけではありませんので、出血・腹痛・便の異常などの症状が続く場合は医療機関にご相談ください。



早期発見には、大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受診することが重要です。



便潜血検査で陽性になる病気は大腸がんだけではありません。潰瘍、ポリープ、炎症性腸炎、痔など、他の病気でも陽性になることがあります。

しかし、自己判断で放置しないで、便潜血検査で陽性に出れば、
かならず精密検査を受けましょう!!

